

自然災害対策

台風

台風は、南洋や南シナ海で発生し、日本に北上してきます。夏から秋にかけてのシーズンが一番多く、毎年、多くの被害が出ます。

台風が近づいてきたら、テレビやラジオの情報に注意し、被害を最小限に留めるためにも、万全の対策を取るよう、心がけてください。

■対策

- 窓は鍵をかけ、雨戸を閉めてください。
- 雨戸のない窓は、サッシの下に、雑巾などを当てておくと、吹き込みを防ぐのに効果的です。
- 家のまわりやバルコニーにある、飛びやすいものは片づけてください。
- 物干し竿などは、飛ばされないよう片づけるか、ひもなどで固定してください。
- アンテナなどは、必要に応じ補強してください。
- 雨樋や排水口に、ゴミが詰まっていないかチェックしてください。

■通過後

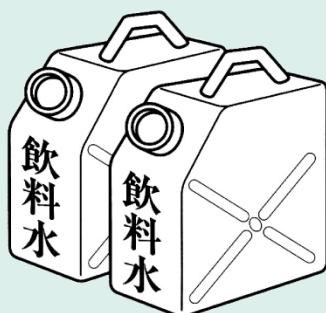
- 家のまわりや建物に、破損箇所はないか、チェックしてください。

クしてください。もし破損箇所が見つかったら、すぐ修理しましょう。

- 窓を開け、家の中の湿気を乾燥させてください。特に、濡れた箇所は、充分乾燥させてください。

● 注意

- 万が一、飛来物などで窓ガラスが破られたときは、畳や家具でふさいでください。そのままにしますと、被害が建物内にも広がる恐れがあります。



洪水情報が出た場合の対処の仕方

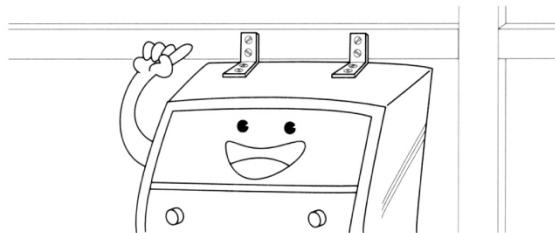
- 床上浸水に備えて、畳・寝具・衣類・家財道具や、水に濡れて欲しくないものは、できるだけたくさん、2階に運びましょう。
- 凈化槽のモーターなどの、電源を切ります。
- 浸水した場合は、水道が使えなくなることもあります。念のため、飲料水などを確保しておきましょう。

地震

地震は予測が付かないでの、普段からの対策が大切です。いざというとき慌てないよう、日頃の対策を心がけましょう。

■対策

- 家具が倒れないように、倒れ防止金具を取り付けておきましょう。



- 落下防止を防ぐためにも、家具や棚の上に、重いものを載せるのは止めましょう。
- 食器棚などのガラスは、割れて飛び散る恐れがあり、大変危険です。市販の飛散防止フィルムなどを、貼っておくと安心です。

■地震後

- 屋根瓦のズレがないか、アンテナの位置はだいじょうぶかなど、確認してください。
- 外壁や基礎に、破損箇所や亀裂がないか、確認してください。
- 給排水管に水漏れがないか、ガス管にガス漏れはないかなど、チェックしてください。
- 建具の開閉がスムーズにできるか、チェックしてください。

! 注意

- 地震を感じたら、ガスコンロの火を消し、元栓を締め、電気器具のコンセントを抜くなどして、火災を予防してください。
- その後、テーブルの下など、安全な場所に避難してください。

大雪

雪は思った以上に重さがあり、屋根や建物に大きな負担がかかります。屋根に積もった雪をそのままにすると、一度に落下して、周囲に思わぬ損害を与えることもあります。大雪の降った後は、雪下ろしをしましょう。

■対策

- 水道管に凍結のおそれがある場合は、水を少量出しておくか、水抜きするとよいでしょう。
- 屋根の雪止めに損傷がないか点検し、除雪用具などの確認をしておきましょう。

■大雪後

- 玄関まわりの除雪は、すべての雪を除いてしまうと、霜柱が地面を押し上げ、建物を傷めることがあります。除雪は最小限にしてください。
- 屋根瓦・アンテナ・雨樋などに、破損はないか、チェックしましょう。

! 注意

- 屋根の雪下ろしをする際は、足下が滑りやすく危険です。充分注意してください。